

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	衣料品専門店（営業・販売）	・客との会話の中で、会社業績が上向きにある等の明るい話題が多いことから、先行きに期待できる。
		旅行代理店（営業担当）	・郊外のショッピングセンターの出店増加に伴い、旅行会社の店頭店舗の出店も増加している。また法人旅行需要も今年に入り、企業の報奨旅行の計画が増加していることから、先行きの見通しは明るい。
		通信会社（経営者）	・投資に前向きなクライアントの動きがみられることから、先行きに期待できる。
		競輪場（職員）	・競走グレードが今月よりも1ランク上なので、良くなると思われるほか、9月は秋祭りシーズンの到来で、この地域特有の祭りが本番を迎えて街全体が活気づくことから、先行きに期待が持たれる。
		その他レジャー施設 [ 球場 ]（企画担当）	・フランチャイズ球団が合併問題で揺れてはいるものの、現状は来場者がほぼ予定通りとなっているほか、客足が好調な人気球団の試合が8月は6試合予定され、またその他の式典等イベントも予定されているため、全体としては多数の来場者が見込まれる。
		その他住宅 [ 情報誌 ] （編集者）	・益明け以降は秋の不動産商戦期に入るため、住宅ローン金利の先高感から購入者層が活発化する可能性が高く、また、ディベロッパー各社の供給物件数も増加する見込みである。
	やや良くなる	一般小売店 [ 事務用品 ]（経営者）	・大手企業の業績の向上にようやく中小企業も追いつき、良い感じをつかみかけている様子である。現在まで我慢してきた企業が、投資や新事業へ新たな戦略を打ち出してきつつあることから、先行きに期待が持たれる。
		一般小売店 [ 酒 ]（経営者）	・6月に新聞の特集記事に載ったことで、問い合わせが増えてきていることから、先行きに期待できる。
		一般小売店 [ 衣服 ]（経営者）	・今年は暑くなると予想されるので、夏物商品の売上が伸びると思われる。
		百貨店（売場主任）	・当月中旬より食品フロアの改装を行い、食品のみならず上層階の集客効果が出てきており、今後、新規顧客等の獲得に期待が持てる。
		スーパー（経営者）	・昨年の冷夏に比べ、今年はどうやら例年通りの暑い夏となりそうである。昨年は果物、冷菓類、飲料、ビール、酎ハイなどが軒並み大幅ダウンであったが、これら季節商材の売上が期待できる。
		スーパー（店長）	・食料品は価格競争による厳しい状態が続くと思われるが、家電を中心に、新たな需要が見込める新しい用途の商品が増えていることから、先行きに期待できる。
		スーパー（広報担当）	・新規出店による売場面積の増加により、競合状況は厳しさを増し、個別企業の売上は苦戦すると思われるが、トラベル関連商品やアテネオリンピック関連で打ち出したデジタル家電等、売行き好調な商品が出てきており、消費そのものは上向き傾向だと思われることから、先行きに期待が持てる。
		コンビニ（経営者）	・昨年ほどの冷夏ではないようなので、飲料やアイス類が順調に売れそうである。またオリンピック効果で自宅での飲食に伴う需要も想定される。
家電量販店（企画担当）	・今後の気温が高くなれば、短期間かもしれないがエアコン需要が伸び、オリンピックの影響も徐々に薄型テレビ、大型テレビの購買に結び付いていくことが期待される。		
乗用車販売店（営業担当）	・新型車が発表される予定で、話題性は十分あるので、販売量は増える。		
都市型ホテル（経営者）	・7、8月はやや落ち込みが予測されているが、9月以降の受注状況は前年同時期よりも好調である。足元の宿泊や宴会の予約受注状況も計画値に近づいており、良い傾向がみられる。		
旅行代理店（経営者）	・企業の社内旅行の案件が少しずつ増えていることから、先行きに期待が持たれる。		
旅行代理店（広報担当）	・秋の旅行シーズンということもあるが、今年にはアテネオリンピックの自宅テレビ観戦のために、夏の長期旅行を控えた多くの方が、やや割安でキャンペーン中の、関西国際空港の開港10周年記念ツアーに参加することが期待される。		
タクシー運転手	・株主総会後は夜の動きが良くなり、今年は各会社の成績も良いと聞くので期待している。		

	通信会社（社員）	・先行きは不透明であり楽観はできないが、夏には新商品が出そろうので、今よりは持ち直す。
	通信会社（社員）	・情報通信の分野で家庭に入り込んでいるブロードバンドサービスにおいて、様々な面からケーブルテレビへの需要が高まっているため、先行きに期待が持たれる。
	その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	・オリンピックまでのDVDレコーダーの需要増加に伴い、DVDソフトのレンタル、販売が今後も非常に好調に推移する。
	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・ここに来て、住宅展示場に出展を希望するハウスメーカーが続々と出てきて、空区画がほぼ埋まる状況にまでなってきたことから、先行きに期待が持たれる。
変わらない	商店街（代表者）	・バーゲンによって売上が伸びるといことがないように思われるため、今後も横ばいである。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	・同業者の中で、雲の上の存在だった店が自主廃業した。この状況の中で良くなる材料が全然ない。
	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・アパレルでは店頭価格の決定が非常に難しいが、今後も消費税総額表示の問題が、販売額に非常に大きな影響を与える。
	一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・アメリカのBSEの問題で、輸入の再開が遅れると、国産相場に影響を与え続けることから、今後も厳しい状況が続く。
	百貨店（売場主任）	・9月、11月と専門店の出店が予定されており、地域集客効果はあるものの、プラス効果は予想できない。
	百貨店（売場主任）	・秋物商材ははっきりしたトレンドがいくつか出ているため、購買額はさほど減少しない。
	百貨店（売場主任）	・7月からスタートするクリアランスに期待するところが大きいですが、問い合わせや店頭での顧客の反応からすると、現状と大きな変化は望めない。
	百貨店（売場主任）	・一部業界の賞与増が新聞紙上で取り上げられ、多少ではあるが消費マインドの持ち直しが見込まれる。ただ、レディースファッションに対する投資は依然厳しく、特にヤングアダルトを中心に苦戦が予想される。
	百貨店（営業担当）	・高級紳士服は今後売上が伸びずと思われるが、美術品、宝飾品などは、現在の引き合いの状況から考えると低迷が懸念される。話題性のある商品が出てこなければ良くならない。
	スーパー（店長）	・近隣のスーパーマーケットの出店もあるが、来客数はまずまずで、単価はダウンするという傾向は当分続きそうな感がある。
	コンビニ（経営者）	・近隣に100円ショップなどの出店が相次いで予定されているため、単価の低下に歯止めがかかるとは考えにくい。
	乗用車販売店（営業担当）	・他メーカーの問題があつてから、客はリコールに対して厳しく見ており、今後修理が増えてくる。
	自動車備品販売店（従業員）	・7月のボーナス商戦を見ないと何とも言えない。カー用品の業界自体が飽和状態で、異業種の参入もあることから、先行きはかなり厳しい。また、カー用品の耐久性も上がっていることから、新商品への切り替えには相当の消費意欲が必要である。
	観光型ホテル（経営者）	・7月から9月までの予約状況を見ても非常に悪い状況であり、今後もこの状態が続きそうである。
	タクシー運転手	・京都はこれから催しもあり、昼間の乗客に期待できるが、夜間の乗客が見込めない。
	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・企業のイベント日程照会が以前より増えてきているが、特定のジャンルの業種が多く広がりはみられないことから、今後も厳しい状況が続く。
住宅販売会社（経営者）	・新築分譲等の契約率は依然横ばいであり、売れ残り物件の値引き売却が目立つことから厳しい状況が続く。	
住宅販売会社（従業員）	・土地価格、建築費等の住宅建設コスト上昇分の、最終エンドユーザーへの転嫁は厳しい状況であることから、今後も厳しい状況が続く。	
やや悪くなる	百貨店（サービス担当）	・今まで売上のけん引役であった物産催事への疑惑問題や、食の安全性への不安等で今後は売上が苦戦すると考えられるほか、グループ球団の合併により優勝セールや感謝セール等の販売機会が減少する点などで、売上向上への期待が持てない。
	都市型ホテル（副総支配人）	・宿泊予約状況は前年に比べやや低調であり、当面は苦戦が続きそうである。また、レストランは周辺の工事で来客数の減少がしばらく続きそうである。

		通信会社（経営者）	・携帯電話業界は顧客の飽和感がはっきりしてきている。携帯電話のＩＣカード組み込みなど新しい取り組みがあるものの、実需につながる感触ははまだ希薄で、中期的にも更なる顧客開拓の期待は薄い。
	悪くなる	商店街（代表者）	・近隣に大型スーパーが進出する予定であることから、先行きの見通しは厳しい。
		スーパー（経営者）	・４月の消費税総額表示以来、１人当たりの買上単価が悪くなる一方であることから、先行きには期待できない。
企業 動向 関連	良くなる	通信会社（経営者）	・新規事業展開、新規案件がなく、先行きの見通しは暗い。
		一般機械器具製造業（経営者）	・既に３か月超の注文が入っており、先行きに期待できる。
	やや良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・引き合い件数の量、質とも上向いていることから、先行きは良くなるのが期待できる。
		金融業（支店長）	・販売額の増加を見込んでいる企業が多いことから、先行きに期待が持たれる。
	変わらない	化学工業（経営者）	・ゴールデンウィーク前から落ち込んでいた問い合わせ、受注も回復傾向にあるが、原材料の価格動向によっては現状では顧客への価格転嫁が難しいため、収益が悪化するおそれがある。
		金属製品製造業（経営者）	・材料の価格高という逆風ながら、荷動きは輸出も国内も活発であることから、現状維持である。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・主事業の照明分野において家電は低迷しているが、得意先情報によると店舗での使用は良好、住宅での使用は変化なしとの予測で、全体としては現状と変化はない。
		建設業（経営者）	・住宅販売において、新聞折込チラシを入れても集客が良くなく、販売現場に来場した客も慎重型の人が多く、うまく契約までまとまらないのが現状である。まだまだ今後２～３か月では良くなると思えない。
		輸送業（経営者）	・輸入貨物関連については好調であるが、国内輸送については受注量も伸びておらず、良くなるように見受けられない。
		やや悪くなる	繊維工業（団体職員）
		電気機械器具製造業（従業員）	・オリンピックも終えてＡＶ関連の荷動きも一段落すると思われることから、先行きには期待できない。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・紹介予定派遣や正社員という依頼が増えており、採用意欲は高いが、高スキルを要求してくる企業も多く、ミスマッチが起こる可能性がある。
		人材派遣会社（社員）	・事業拡大等で人材派遣を増やす動きがみられることから、先行きに期待が持たれる。
		人材派遣会社（社員）	・求人数が確実に増加し、料金も安定してきている。雇用のミスマッチも、若干ではあるが解消されつつある。今後は若年層、ＩＴ関連等は人材不足が予想されるが、一般的に契約数は大幅に伸びると期待される。
		職業安定所（職員）	・来年の新規高卒者の求人受理状況が、前年度に比べ出足好調で、先行きに若干の期待が持てる。
		職業安定所（職員）	・産業別に見た場合、元気のない産業は確実に新規求人が減少している。適度な規模になるためにここ一番の苦労を重ねているようである。ただ、大半の産業では新規求人数が上昇していることから、もう間もなく良くなる。
		職業安定所（職員）	・昨日実施した新卒者対象の就職面接会での求人数は、前年度と比べ増加した。一方、参加学生は３分の２に減少しており、内定者が増加していると思われることから、先行きに期待できる。
		民間職業紹介機関（支社長）	・関西企業のすべてではないが、業績好調企業が新卒の採用以外にも、中途採用者で社内の人材を増強する傾向が止まらないことから、先行きに期待が持てる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・現在も中堅企業は採用活動を継続しており、まだ充足していない様子である。また、中小、零細企業については、これから採用活動を本格化させる動きがみられることから、先行きに期待できる。
		変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）
	やや悪くなる	-	-

	悪くなる	新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	・無料情報誌が氾濫して、パート、アルバイトなど短時間労働者の募集はますます新聞を離れていることから、先行きの見通しは暗い。
--	------	-------------------------	---